

企業名： DOWA ホールディングス

レポート名： DOWA REPORT の学生目線からの分析

1. この会社が目指す姿が理解できるか



写真 1 DOWA グループの企業理念、ビジョン、価値観、行動規範

左の図は DOWA REPORT(統合報告書)の 1 ページ目に示されている、企業理念、ビジョン、価値観、行動規範の関係を表した図である。私たち学生にとって、また統合報告書を見る機会が少ない個人にとってはこれらの言葉の関係性は理解し難いので、図で関係性が理解できる工夫が良かった。特に私は企業理念 (Mission) とビジョンの違いを全くわかっていなかったが、ビジョンの上に企業理念があることが視覚的に理解でき、理念に基づいてビジョンを設定していることがわかった。

上で示された企業理念などを一つずつ見ていく。まず企業理念は「地球を舞台とした事業活動を通じて、豊かな社会の創造と資源循環型の社会の構築に貢献する」というものだ。この企業はこれを企業自身の存在理由としている。抽象的ながら最も上に位置する理念としては現代の社会にも合っていて、理解もしやすく好感を持った。現代では、企業にも環境への配慮が求められているが、リサイクル事業を持っているこの企業が資源循環型の社会の構築を掲げることに違和感はなく信用することができる。二つ目に位置するビジョンは企業理念を実現するためのより具体的な方法を示している。これも多くの人が共感でき、抽象的ではあるが、DOWA グループの事業内容から容易に実践できることが推定される。次に位置する価値観は企業として最低限必要な倫理観を反映したものであり、これにも共感できた。行動規範は具体的に示されてはいないが、図から価値観を反映したものであると考えられる。

目標を達成するための戦略は、2 ページ目から 8 ページにわたる社長の言葉によって示されている。具体的には大規模な投資活動の状況や社長目線の今期の業績の分析などだ。財務諸表に載っている情報だけでなく、今後の見通しや環境への配慮、各事業にたいする熱量を感じることができ、今回の狙いである非財務情報を最も多く得ることができた。その一方で、これだけ多くのページに文字が並んでいると読み飛ばしてしまう人も多いように思う。見出しがついており読みやすくする工夫はされていたが、もう少しコンパクトにして欲しいと感じた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

事業の強み

01

産業物の収集運搬から焼却処理、埋立処分まで、自社で一貫処理が可能

02

日本最大級の産業物焼却能力

03

土壌浄化事業、リサイクル事業も展開し、環境サービスのトータルソリューションを顧客に提供

04

東南アジアの4か国（インドネシア、タイ、シンガポール、ミャンマー）において、産業物処理事業を展開

この企業の事業はリサイクル、製錬、電子材料、金属加工、熱処理の5部門に分かれており、部門ごとに主要な財務情報、事業内容、事業の強み、機会とリスク、今年度の状況が図や写真を使って示されている。特に事業の強みが2~4つ箇条書きで示されていることが競争優位性を考える上で有用であった。具体的にはどんな技術が他企業と比べて優れているのか、既存の商品ネットワークがどのようなものか、また生産工程の効率性など様々な強みが挙げられており、それらがフローチャートで示されていることで知識がなくても理解することが可能であった。これ以上の情報を載せるとどの情報が重要なのか判断し難く

写真2 報告書に掲載されている事業 なるため、適切な情報量をわかりやすく掲載できていて好感の強みの一例（環境・リサイクル部門） が持てた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

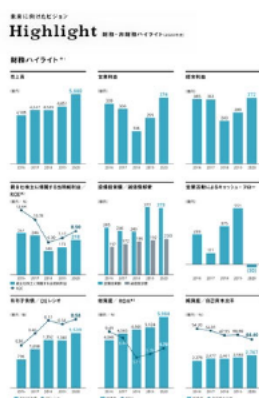


写真3 財務・非財務情報のグラフをまとめたページ

持続性についても、2で示した掲載情報から理解することが可能であった。また、現状だけでなくある程度長期的な視点を確保するために12,13ページの各種データも役立った。ROEなどの財務情報に加え、非財務情報もグラフ化されて提示されており、CO2排出量、淡水使用量など環境に関する数値から、有給取得率や独立役員比率まで様々なデータが視覚的に理解できた。しかし、これらのデータは財務情報

と違いどのデータが必須かわからないため、データの選択が恣意的になっていても気づかない恐れがある。またCO2排出量や淡水使用量は水準が分らないため、推移を見るためにしか利用できなかった。しかしそれでも見やすい形で非財務情報を掲載していることは評価でき、他社との比較も容易になることが予想される。このページに掲載されていないネガティブな情報がないかに注意することを忘れなければ、投資家にとっても良い情報源になるだろう。見開き1ページに財務情報と非財務情報がまとまっていることで分析もしやすかった。

各部門の将来性については、リサイクル部門については冒頭のTOP MESSAGEでも語られており、リサイクルという分野は特に今後成長することが見込まれていて将来が明るいだらうとされていた。製錬部門もTOP MESSAGEで投資が成功していることが報告されており、数年は問題なく運営できるだろう。電子部門と金属加工部門も今後も間違いなく需要がある部門なので特に問題があるとは思えない。業績の他に、各事業のリスクも表にして解決策まで示されていたので理解しやすかった。

3. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

私はこの会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると予想する。この報告書では従業員に関する報告に 6 ページを割いてあらゆる情報に言及しており、透明性が評価できる。私は女性であるので女性の活躍推進の部分に特に注目した。女性管理職の割合が低く初めはマイナスイメージを持ったが、定着率が低いことが課題であると課題を明らかにした上で目標数値を立て、達成のために様々な取り組みを行っていることを知り、目標が形骸化していないことに好感を持った。新人研修は「3年間で一人前」という教育方針のもとで手厚く行われており、内容も具体的で魅力を感じた。さらに語学や人権などにフォーカスした分野別研修や選抜型教育のプログラムも多数あり、学ぶ環境が整っていると感じた。また高齢者にはライフプランセミナーを行なっているとあり、全年齢層にアピールしている点も評価できる。また、報告書全体からは、多数の子会社を持つグループ企業として、全体を把握しようとしていることや透明性の向上に努めていることが伝わり、企業として理想的な状態を保っていると判断した。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

まず、この報告書では「サステナビリティ」という言葉が多用されていたが、その用法が異なっていたので見出しを誤って理解してしまうことがあった。サステナビリティという言葉が昨今最も多く使用されているのは環境的な持続性の意味で、であろう。実際に環境への取り組みに関するページではこの報告書でもこの意味で使われていた。一方で 26 ページの見出しには「サステナビリティ・マネジメント」という言葉が使われていたが、ここではサステナビリティはこの企業の成長の持続性を指していた。54 ページのサステナビリティもその意味である。見出しなので注もなく、本文を読むまで誤解していたので、どちらかの用法に統一すべきだと感じた。言葉として間違っていないのかもしれないが、一般的な理解と照らし合わせると、誤解を生みやすくわかりにくい。

次に、追加すべき項目として、数多くある子会社の監査状況が挙げられる。近年、大企業の子会社が海外の工場の人権侵害とも言えるような労働環境を放置している例が多く見受けられる。先進国の大企業として、そのような事態を防ぐために労働環境の保全に取り組むべきだ。今回の報告書では各工場の状況は全く見えてこなかったが、この課題は今後重要になっていくに違いなく、この企業の理念にも関連しているため報告すべきだと言える。

レイアウトに関しては、全体を通して、目まぐるしく掲載情報が変わるため混乱してしまうことがあった。各部門の中長期戦略の部分のように、色で感覚的に区切りがわかるよう工夫されているところは良かったが、それ以外の部分は今何が書いてあるページを読んでいるのか分らなくなることがあった。具体的には Special Feature として環境的なサステナビリティと DX を取り上げたあとサステナビリティ・マネジメントが掲載されていて、サステナビリティの意味の違いもあり混乱してしまった。後半のガバナンスの部分では役員紹介の後突然インタビューが挿入されていたが、その内容が広範囲に渡ったこともあり読み終わ

る頃には何について考えていたか分からなくなってしまった。

このようにいくつか改善点はあるが、日鉄鉱業、JXTG ホールディングスなど同業界の他企業と比べても色使いやレイアウトが見やすく、情報量も適切であったため、かなり印象は良かった。

参考文献

DOWA ホールディングス株式会社、2021 年、「[DOWA REPORT 2021 \(統合報告書\)](#)」
(最終閲覧日 2022 年 7 月 18 日)

日鉄鉱業株式会社、2022 年、「[第 108 期 \(2022 年 3 月期\) 報告書](#)」 (最終閲覧日
2022 年 7 月 18 日)

日本軽金属ホールディングス株式会社、2021 年「[統合報告書 2021](#)」 (最終閲覧日 2022
年 7 月 18 日)

ENEOS ホールディングス株式会社、2022 年、「[統合レポート 2021](#)」 (最終閲覧日 2022
年 7 月 18 日)